

受付	個人質問	第	号
	令和 年 月 日	時	分

一般質問＜個人＞発言通告書

令和6年8月26日

長久手市議会議長 殿

長久手市議会議員 野村 弘

会議規則第59条第2項の規定により下記のとおり通告します。

	質問事項及び要旨	備考
1	<p>市長就任1年の成果と課題について</p> <p>佐藤市長が令和5年9月18日に就任してから、1年が経とうとしている。12年間の吉田市政からの転換、県内初の女性の自治体トップということで、市民の期待・関心や他の自治体からの注目度も高い中での就任となった。市長はまちづくりビジョンとして「誰もが希望を持てるまち」「子どもがすくすく育つまち」「高齢者に優しいまち」「文化芸術・スポーツのまち」「自然環境を大切にするまち」の5つを掲げ、それぞれについて、具体的な重点政策を挙げ、この1年取り組んできたと思う。形になったものもあれば、現在進めているもの、今後取り組んでいくものもある。市長自身がこの1年を振り返ったとき、成果と課題も含めてどのように評価するか。</p>	
2	<p>教員を取り巻く環境整備について</p> <p>教員を取り巻く環境整備については、教員の働き方改革や教員不足等、様々な課題がある。</p> <p>(1) 市は、教員の働き方改革は一人一人の子どもに丁寧に関わりながら、質の高い授業や個に応じた指導を実現していくための重要かつ喫緊の課題であるとして、平成31年3月に「教員の働き方改革プラン」を示し、令和5年度を目標として取り組んできた。中学校部活動は令和6年9月か</p>	

	<p>ら土日祝日と長期休業中の活動が民間委託となり、小学校の課外活動は令和7年度から廃止されることで、働き方改革は大きく進んでいくと思われるが、5年間の働き方改革への取り組みの成果はどのようなか。</p> <p>(2) 教員の数が本来必要な数に達していない状態を示す「教員未配置」が全国的な問題となっている。また、産休・育休や病気などによる長期休暇の正規教員の代わりに入る講師が見つからず、校内の教員で対応しなければならないことも問題となっている。本市の現状はどのようなか。</p>	
--	---	--